

- 問1 東アジアや、タイなどの東南アジアで広く信仰されている仏教の特徴についての説明として、最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。
(2026年 宮崎県公立入試 類似)
1. 1日5回、聖地メッカの方角に向かってお祈りをする。 2. 聖典である聖書を読み、教会で礼拝を行う。 3. 日常的に僧侶への寄付（喜捨）や寺院への参拝が行われている。 4. 聖なる川とされるガンジス川で沐浴（身体を清める儀式）を行う。
- 問2 東南アジアの多くの地域で見られる「雨季」と「乾季」の仕組みと、それが自然環境に与える影響について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。
(2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 数年おきに発生するエルニーニョ現象によって、雨季の時期だけ極端に海水温が上昇し、その水蒸気が供給されることで降水量が著しく増加する。 2. 一年を通じて赤道低圧帯の影響を受けるため、季節による降水量の変化はほとんどなく、湖の面積は年間を通じて一定に保たれる。 3. 季節風の影響で、特定の時期に海洋から湿った風が吹き込み降水量が急増するため、トンレサップ湖のように面積が数倍に拡大する湖が存在する。 4. 一年中西から東へと吹く偏西風がヒマラヤ山脈にぶつかることで、山麓の地域のみに大量の降水をもたらす、下流の湖の面積を変動させる。
- 問3 2019年におけるイギリスへの移住者の出身国を調べた統計において、第1位となっている国があります。この国は、牛を神聖視するヒンドウ教を信仰する人々が多く、近年では情報通信技術（ICT）関連産業が目覚ましく発展していることで知られています。この国名を答えてください。
(2025年 栃木県公立入試 類似)
1. タイ 2. ルーマニア 3. 中国 4. インド
- 問4 1967年に結成された、タイ、インドネシア、フィリピンなどの国々が加盟し、地域の経済・文化の発展と平和、安定を目的としている地域協力組織の名称として、正しいものはどれですか。
(2017年 茨城県公立入試 類似)
1. ヨーロッパ連合（EU） 2. 石油輸出国機構（OPEC） 3. 東南アジア諸国連合（ASEAN） 4. アジア太平洋経済協力会議（APEC）
- 問5 中国の人口構成に関する統計において、1950年から2014年にかけて年少人口の割合が約半分以上に減少した一方で、老年人口の割合が約2倍に増加している傾向が見られます。このような状態を表す用語と、それに関連して中国で見直された政策の組み合わせとして正しいものはどれですか。
(2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. 人口爆発 — 一人っ子政策の導入 2. 過疎化 — 西部大開発の実施 3. 少子高齢化 — 一人っ子政策の見直し 4. 所得格差 — 経済特区の設置
- 問6 世界の農産物統計において、アジア州が占める割合が極めて高く、世界全体の生産量の約9割に達している農産物の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。
(2025年 秋田県公立入試 類似)
1. 綿花と大豆 2. 米と茶 3. 小麦とうもろこし 4. コーヒーとカカオ
- 問7 東南アジアに位置するカンボジアのトンレサップ湖は、乾季の4月には面積が約3,300km²ですが、10月には約11,600km²と3倍以上に拡大します。このような湖の面積の劇的な変動や、夏から秋にかけて降水量が急増する気候特性をもたらす、季節によって風向きが変化する風を何と呼びますか。
(2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 偏西風 2. 貿易風 3. 季節風（モンスーン） 4. エルニーニョ現象
- 問8 西アジアに位置し、ペルシャ湾の北側に広大な国土を持つ国について述べたものとして最も適切な名称はどれですか。なお、この国は全人口に占めるイスラム教徒の割合が極めて高いという特徴があります。
(2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. イラン 2. インドネシア 3. エジプト 4. ナイジェリア
- 問9 ベトナムにおいて、2000年代初頭からの十数年間で機械類の輸出シェアが爆発的に拡大し、国の経済を支える最大の項目へと成長した背景として、最も適切な説明を選んでください。
(2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 米の生産を大幅に削減し、すべての水田をスマートフォン工場へと転換する強硬な政策をとったため 2. ドイモイ（刷新）と呼ばれる政策によって市場経済が導入され、外国資本の受け入れが進んだため 3. ASEAN（東南アジア諸国連合）を脱退し、周辺国との関税を高く設定することで国内産業を保護したため 4. 石炭や鉄鉱石などの豊富な鉱物資源をそのまま輸出するモノカルチャー経済を強化したため
- 問10 アジアの大陸東部や南部において、夏にインド洋などの海側から陸地に向かって吹き、その地域に大量の湿気をもたらして雨季を形成する原因となる風を何といいますか。
(2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 季節風（モンスーン） 2. 貿易風 3. 偏西風 4. シロツコ
- 問11 マレー半島やインドネシアなどの諸島を含む「東南アジア」の地理的・経済的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。
(2021年 大分県公立入試 類似)
1. インドやバングラデシュなどの国々が含まれ、ヒマラヤ山脈からの河川を利用した小麦栽培が盛んである。 2. タイやベトナムなどの国々が含まれ、米の二期作や天然ゴムなどのプランテーション農業が盛んである。 3. サウジアラビアなどの国々が含まれ、乾燥した気候を利用した牧畜や石油の輸出が経済を支えている。 4. 韓国やモンゴルなどの国々が含まれ、古くから漢字や仏教などの共通の文化圏を形成している。
- 問12 2013年から2014年にかけての日本と中国の間の貿易統計について述べた文として、正しいものはどれか。ただし、中国から見た「輸出総額」および「農林水産物輸出額」は日本向けの数値とし、他方も同様とする。
(2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 中国の穀物生産量は世界シェアの約2割を占めるため、対日輸出総額の半分以上を農林水産物が占めている。 2. 中国から日本への輸出総額よりも、日本から中国への輸出総額の方が常に多い。 3. 中国から日本への輸出総額は、中国から日本への農林水産物輸出額を大きく上回っている。 4. 日本から中国への農林水産物輸出額は、日本から中国への輸入総額を上回っている。
- 問13 サウジアラビアなど、西アジアの産油国の経済と産業の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2026年 沖縄県公立入試 類似)
1. 乾燥した気候を利用した綿花の栽培が盛んであり、原油よりも農産物の輸出による外貨獲得を重視している。 2. 豊富な石炭資源を背景に製鉄業が発達しており、輸出額においては鉄鋼製品が原油を上回っている。 3. 地下資源に乏しいため、輸入した鉄鉱石から自動車などの機械製品を生産し、輸出の柱としている。 4. 輸出額の半分以上を原油が占めており、その収益を利用して道路や港湾などのインフラ整備や都市開発を進めている。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 日常的に僧侶への寄付（喜捨）や寺院への参拝が行われている。	東アジアや東南アジア（タイなど）で多く信仰されている仏教では、僧侶に食料や日用品を寄付する喜捨や、寺院での参拝が日常的に行われています。メッカへのお祈りはイスラム教、聖書の読誦や教会での礼拝はキリスト教、ガンジス川での沐浴はヒンドゥー教の主な儀礼です。
問2	答え 3 季節風の影響で、特定の時期に海洋から湿った風が吹き込み降水量が急増するため、トンレサップ湖のように面積が数倍に拡大する湖が存在する。	東南アジアの地理的特徴として、季節風（モンスーン）による降水量の劇的な変化が挙げられます。カンボジアのプノンベン近郊などでは、夏から秋にかけての雨季に降水量が集中します。この気候メカニズムによって、トンレサップ湖では4月の約3,300km ² から10月の約11,600km ² へと、季節によって湖の姿が大きく変わる環境が形作られています。選択肢にある偏西風は主に日本などの中緯度帯に影響を与える風であり、エルニーニョ現象は周期的な異常気象を指すため、毎年の安定した季節サイクルを説明するものではありません。
問3	答え 4 インド	インドはかつてイギリスの植民地であった歴史的背景から、イギリスとの人的・経済的な結びつきが非常に強く、移住者が多い傾向にあります。文化面では、人口の約8割がヒンドゥー教を信仰しており、教義に基づいて牛を神聖な動物として大切にする習慣があります。
問4	答え 3 東南アジア諸国連合（ASEAN）	タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナムなどが加盟するこの組織は、東南アジア諸国連合（ASEAN）と呼ばれます。当初は冷戦下の安全保障を主な目的としていましたが、現在は域内の自由貿易を進めるなど、経済的な統合も強めています。アジア太平洋経済協力会議（APEC）は日本やアメリカを含む環太平洋の広域組織であり、ヨーロッパ連合（EU）はヨーロッパの統合を目指す組織です。
問5	答え 3 少子高齢化 — 一人っ子政策の見直し	年少人口の割合が減少し、老年人口の割合が増加する現象は「少子高齢化」と呼ばれます。中国ではかつて爆発的な人口増加を抑えるために「一人っ子政策」を導入していましたが、少子高齢化の急速な進展によって労働力不足などの弊害が予測されるようになったため、この政策は見直されることとなりました。
問6	答え 2 米と茶	アジア州の東部から南部にかけては季節風（モンスーン）の影響を強く受け、夏に高温多湿となるため、多量の水を必要とする稲作が非常に盛んです。また、丘陵地を利用した茶の栽培も盛んであり、米と茶はいずれもアジア州が世界生産の大部分を占めています。一方、小麦やとうもろこしは北アメリカやヨーロッパでも広く栽培されており、アジア州の占有率はこれほど高くありません。
問7	答え 3 季節風（モンスーン）	ユーラシア大陸の東部や南部では、大陸と海洋の暖まり方の違いにより、季節によって風向きが逆転する季節風（モンスーン）の影響を強く受けます。カンボジアを含む東南アジアでは、夏から秋にかけて海側から湿った空気を運ぶ季節風が吹くため、降水量が著しく増加する雨季となります。この大量の雨水が流れ込むことで、トンレサップ湖の面積は数倍にまで膨れ上がります。一方で、中緯度帯を一年中吹く偏西風や、数年おきに発生する海面水温の変動であるエルニーニョ現象は、この定期的な季節変化の主因ではありません。
問8	答え 1 イラン	西アジア（中東）のペルシャ湾北側に位置し、国民の多くがイスラム教徒である国はイランです。選択肢にあるエジプトはアフリカ大陸北東部、ナイジェリアはアフリカ西部、インドネシアは東南アジアに位置しています。これらの国々はいずれもイスラム教徒が多いことで知られていますが、地理的な位置関係によって区別する必要があります。
問9	答え 2 ドイモイ（刷新）と呼ばれる政策によって市場経済が導入され、外国資本の受け入れが進んだため	ベトナムは1986年から「ドイモイ（刷新）」政策を推進し、社会主義の枠組みを維持しながらも市場経済を導入しました。これにより日本や韓国などの外資系企業による直接投資が活発化し、電気機器や精密機械の組み立て拠点が形成されたことが、輸出額の大幅な増加につながりました。
問10	答え 1 季節風（モンスーン）	アジアの気候に大きな影響を与えるこの風は、夏と冬で吹く方向が逆になるのが特徴です。夏は海から湿った空気を運ぶため、南アジアや東南アジア、東アジアに多量の雨をもたらし、稲作などの農業にも深く関わっています。
問11	答え 2 タイやベトナムなどの国々が含まれ、米の二期作や天然ゴムなどのプランテーション農業が盛んである。	東南アジアは高温多湿な気候を活かした稲作が盛んで、タイやベトナムは世界有数の米の輸出先となっています。また、かつて植民地支配を受けていた時代に開かれたプランテーションでは、現在も天然ゴムや油ヤシなどが大規模に栽培されています。
問12	答え 3 中国から日本への輸出総額は、中国から日本への農林水産物輸出額を大きく上回っている。	対日貿易の規模を見ると、中国から日本への輸出総額は約181,052百万ドルに対し、農林水産物の輸出額は約12,131百万ドルであり、工業製品などを含む輸出総額の方が圧倒的に大きくなっています。同様に、日本から中国への輸入総額（日本側の輸出）も、農林水産物の輸入額（約586百万ドル）を大幅に上回る規模となっています。中国は世界有数の農業国ですが、日本への輸出構造は農産物だけでなく、機械類や衣類などの工業製品が中心であることを把握しましょう。
問13	答え 4 輸出額の半分以上を原油が占めており、その収益を利用して道路や港湾などのインフラ整備や都市開発を進めている。	サウジアラビアをはじめとする西アジアの国々の多くは、輸出額の多くを原油に依存するモノカルチャー経済の傾向があります。得られた莫大な利益（オイルマネー）は、教育の普及や近代的な都市の建設、石油依存から脱却するための工業化などに投資されており、地域の社会構造を大きく変化させています。石炭や鉄鉱石はこの地域の主要な輸出品ではありません。